

# 情報メディア学科 カリキュラムフローチャート (2012年度以降入学生)

カリキュラムポリシー		1年次	2年次	3年次	4年次	ディプロマポリシー		
<b>メディア処理/メディアシステム系</b>	文字・図形・画像・映像・音などのメディア処理技術とそれらに基づくシステム開発技術を学ぶ。	●情報メディア入門	●コンピュータグラフィックス I メディアデータ論	●画像情報処理 I ●音響処理	メディアコンピューティング CAD 空間情報処理 構造化文書処理	●画像情報処理 II ●音声情報処理 映像技術演習 コンピュータグラフィックス II メディアインタフェース	1) 情報人とメディアの関わりや情報メディアが社会に与える影響を理解した上で、社会に果たすべき役割と責務を自覚できる。	1) 各種システムを開発することができる専門能力を獲得できる。
<b>人間情報学系</b>	人とシステムのインタフェース環境を構築する技術を身に付けるとともに、新しい体験を創造したり、豊かな生活を支援する技術を学ぶ。	人間情報学	人間情報学	ヒューマンインタフェース Webデザイン	感性情報処理 色彩学		2) 情報メディア分野で提示される問題を解決するために、主体的・計画的・持続的に取り組むことができる。	数学・自然科学など理工系の専門基礎知識、およびハードウェア・ソフトウェア・システムに関する専門知識を持ち、高度情報化社会のためのシステム開発に活用できる。
<b>専門共通</b>	メディア情報学を学ぶ上で基礎となる情報学の共通技術を習得し、情報技術者としての専門共通科目です。	●計算機アーキテクチャ ●データ構造とアルゴリズム I 信号処理	●オペレーティングシステム ●データベースシステム ●ソフトウェア工学 I アセンブリ言語	●情報セキュリティ ●ソフトウェア工学 II ●システムプログラム ※データ構造とアルゴリズム II	●プログラミング言語論		3) 情報伝達を行う媒体である情報メディアに関する理論的・実践的なIT基礎技術を理解し、適応することができる。	豊かな感性・論理的な思考力と柔軟な発想力や正確かつ論理的に情報を伝えるコミュニケーション能力を持ち、他者と協働して活動できる。
<b>専門基礎</b>	メディア情報学の基礎となる情報学の専門基礎技術を学びます。	●コンピュータ入門 ※ディジタル回路 ●テクニカルライティング (情報処理基礎)	●プログラミング基礎 ※ディジタル回路 ●テクニカルライティング (情報処理基礎)	●情報通信ネットワーク (情報処理基礎)	●オートマタと形式言語 (情報処理基礎)		4) メディア技術を利用することで、人間中心の考え方をもとした情報環境を作り出すことができる。	自然、社会、文化に対する広い人間的素養を持ち、地球的視野で物事を考えることができる。
<b>数理科学</b>	メディア情報学を学ぶ上で必要となる数学を学びます。	●線形数学 I ●微積分学 I	●微分方程式 ●グラフ理論 周波数解析	●情報数学 ●確率・統計	線形数学 II 微積分学 II 数理計算法		5) 自らの考えを伝達するため、情報メディアの特性を利用した効果的なプレゼンテーションおよびコミュニケーションを行うことができる。	2) 自然と人間が共生する、豊かで安心できる社会の実現に必要な人間力を獲得できる。
<b>演習・ゼミナール系</b>	人間中心の考え方をもとした情報環境をつくりだす実践的なメディア技術を習得するとともに、新しい情報メディア技術を創造する。	エレクトロニクス基礎 (2013年度以降開講せず) コンピュータリテラシー	●C演習 I ●C演習 II	●Java演習 ●ソフトウェア工学演習	●情報ゼミナール ●情報メディア専門演習			3) 自然と人間が共生する、豊かで安心できる社会の実現に必要な人間力を獲得できる。
<b>キャリア支援系</b>	情報メディア技術を学んでいくには、人とメディアの関わりや情報メディアが社会に与える影響を理解した上で、社会に貢献する考え方を学ぶ。	基礎ゼミナール*	キャリアステップ	キャリアデザイン I キャリアデザイン II	●情報技術者論	特別講義		3) 自然と人間が共生する、豊かで安心できる社会の実現に必要な人間力を獲得できる。
<b>総合人間学系</b>	人文社会学	倫理学基礎 人類の歴史 言語学基礎(前期or後期)	心理学基礎(前期or後期) 日本の歴史 宗教文化史 文学基礎(前期or後期) 親る文学(前期or後期)	哲学基礎 応用倫理学 社会学基礎 情報社会論 法学基礎 情報法学	科学技術と産業政策(前期or後期) 産業政策概論(前期or後期)			3) 自然と人間が共生する、豊かで安心できる社会の実現に必要な人間力を獲得できる。
	語学	英語表現(basic1)a 口語英語Ia 日本語I 海外語学研修(前期or後期)	英語表現(basic1)b 口語英語Ib 日本語II 英語による情報技術Ia 英語による情報技術Ib 英語による情報技術II 海外語学研修(前期or後期)	英語表現(basic2)a 口語英語IIa 英語による情報技術Ia 英語による情報技術Ib 英語による情報技術II 海外語学研修(前期or後期)	英語の語法 英語による情報技術II 海外語学研修(前期or後期)			3) 自然と人間が共生する、豊かで安心できる社会の実現に必要な人間力を獲得できる。
	健康科学	基礎スポーツ科学a	基礎スポーツ科学b	スポーツ科学実習	健康科学			3) 自然と人間が共生する、豊かで安心できる社会の実現に必要な人間力を獲得できる。
<b>総合理学系</b>	自然科学・総合	生命科学基礎 化学基礎(前期or後期) 環境情報科学(前期or後期) 物理学基礎 力学(前期or後期) 地球科学基礎	情報生命科学 電磁気学 物理現象の数理 地球環境	現代物理学入門 視る自然科学	科学史			3) 自然と人間が共生する、豊かで安心できる社会の実現に必要な人間力を獲得できる。

●: 必修科目、■: 選択必修科目(CS必修) \* 領域区分は共通科目 ※ 2013年度以降入学生は選択科目

1年終了時での目安となる履修・修得単位数	2年終了時での目安となる履修・修得単位数	3年終了時での目安となる履修・修得単位数	卒業要件
共通科目及び1年次配当の専門科目の中から、専門の必修科目10単位を含め、40単位以上を修得することが望ましい。  【コンピュータ・サイエンスコース選択要件】 ① 2年次であること ② 履修申請時において次の科目を修得していること 線形数学 I コンピュータ入門 プログラミング基礎 (2012年度入学生) C演習 I	共通科目及び1～2年次配当の専門科目の中から、専門の必修科目4単位を含め、80単位以上を修得することが望ましい。  【情報ゼミナール履修要件】 総修得単位数62単位以上	共通科目及び1～3年次配当の専門科目の中から、専門の必修科目8単位を含め、120単位以上を修得することが望ましい。  【卒業研究履修要件】 次の要件をすべて充足していること イ. 総合人間学系 20単位 ロ. 総合理学系 10単位 ハ. 専門科目 70単位(必修科目12単位、選択必修科目12単位を含む) ニ. 総計 100単位以上(教職に関する科目の単位は除く) ホ. 情報ゼミナールの単位を修得している	【卒業要件】 「総合コース」 人文社会科学 14単位 外国語 8単位 健康・スポーツ科学 2単位 総合理学系 14単位 専門科目(必修) 26単位 専門科目(選択) 60単位(選択必修科目12単位を含む) (合計) 124単位  「コンピュータ・サイエンスコース」 人文社会科学 14単位(コース選択必修科目12〔8〕単位を含む) 外国語 8単位 健康・スポーツ科学 2単位 総合理学系 14単位(コース選択必修科目8〔6〕単位を含む) 専門科目(必修) 26単位 専門科目(選択) 60単位(選択必修科目46〔42〕単位を含む) (合計) 124単位 〔 〕は2013年度以降入学生

※科目名の前の●は必修科目、■は選択必修科目(CS必修)を示す。

# 情報メディア学科 カリキュラムフローチャート (2011年度以前入学生)

領域	1年		2年		3年		4年		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門科目	線形数学Ⅰ 微積分Ⅰ	微分方程式	グラフ理論 確率・統計	情報数学		数理計画法		線形数学Ⅱ 微積分Ⅱ	
	●コンピュータ入門	デジタル回路 アナログ回路							
	Unix入門	プログラミング基礎 C演習Ⅰ  (情報処理基礎)	計算機アーキテクチャ  Java演習	システムプログラム データベースシステム  アセンブリ言語 C演習Ⅱ ソフトウェア工学Ⅰ  (情報処理基礎)	オペレーティングシステム  オートマトンと形式言語 データ構造とアルゴリズム ソフトウェア工学演習 ソフトウェア工学Ⅱ		プログラミング言語論  構造化文書処理 (情報処理基礎)		
			コンピュータグラフィックスⅠ メディアデータ論  周波数解析	画像処理  音声・音響処理 信号処理	アニメーション		コンピュータグラフィックスⅡ CAD		
					空間情報処理		モデリングとシミュレーション 知識ネットワーク		
			色彩学	人間情報学	ヒューマンインタフェース コミュニケーションデザイン 情報セキュリティ		感性情報処理  アドバンスドネットワーク		
		通信理論		情報通信ネットワーク					
	エレクトロニクス基礎 コンピュータリテラシー  基礎ゼミナール			●テクニカルライティング		●情報メディア基礎演習	●情報メディア専門演習  ●情報ゼミナール ●情報技術者論		知的財産法概論 ●卒業研究 特別講義
共通科目	倫理学基礎	人類の歴史	心理学基礎(前期or後期) 日本の歴史	哲学基礎 応用倫理学 宗教文化史					
	言語学基礎(前期or後期)		文学基礎(前期or後期)	情報社会論 法学基礎 現代経済論	情報法学 科学技術と産業政策(前期or後期)		産業政策概論(前期or後期)		
	人間発達と人権		社会学基礎 日本国憲法 経済学基礎(前期or後期)						
	英語表現Ⅰa 口語英語a 日本語Ⅰ 海外語学研修(前期or後期)	英語表現Ⅰb 口語英語b 日本語Ⅱ	英語表現Ⅱa 実践英語Ⅰa 英語による情報技術a 海外語学研修(前期or後期)	英語表現Ⅱb 実践英語Ⅰb 英語による情報技術b	英語表現Ⅲa 実践英語Ⅱa	英語表現Ⅲb 実践英語Ⅱb			
健康科学	基礎スポーツ科学a		健康科学	基礎スポーツ科学b	スポーツ科学実習				
自然科学・総合	生命科学基礎 化学基礎(前期or後期) 物理学基礎  カ学(前期or後期) 地球科学基礎	情報生命科学 環境情報科学(前期or後期) 電磁気学	物理現象の数理	現代物理学入門 視る自然科学		科学史			

1年終了時での目安となる履修・修得単位数	2年終了時での目安となる履修・修得単位数	3年終了時での目安となる履修・修得単位数	卒業要件
共通科目及び1年次配当の専門科目の中から、専門の必修科目2単位を含め、40単位以上を修得することが望ましい。  <b>【コンピュータ・サイエンスコース選択要件】</b> ①2年次であること ②履修申請時において次の4科目を修得していること 線形数学Ⅰ コンピュータ入門 プログラミング基礎 C演習Ⅰ	共通科目及び1～2年次配当の専門科目の中から、専門の必修科目4単位を含め、80単位以上を修得することが望ましい。  <b>【情報ゼミナール履修要件】</b> ①総修得単位数55単位以上 ②次の7科目18単位の中から12単位以上修得していること プログラミング基礎 2単位 計算機アーキテクチャ 2単位 システムプログラム 2単位 Unix入門 2単位 コンピュータリテラシー 2単位 C演習Ⅰ 4単位 Java演習 4単位	共通科目及び1～3年次配当の専門科目の中から、専門の必修科目12単位を含め、120単位以上を修得することが望ましい。  <b>【卒業研究履修要件】</b> 次の要件をすべて充足していること イ. 総合人間学系 20単位 ロ. 総合理學系 10単位 ハ. 専門科目 70単位(必修科目8単位、選択必修科目12単位を含む) ニ. 総計 100単位以上(教職に関する科目の単位は除く) ホ. 情報ゼミナールの単位を修得している	<b>【卒業要件】</b> 「総合コース」 人文社会科学 14単位 外国語 8単位 健康・スポーツ科学 2単位 総合理學系 14単位 専門科目(必修) 16単位 専門科目(選択) 80(70)単位(選択必修科目12単位を含む) (合計) 134(124)単位  「コンピュータ・サイエンスコース」 人文社会科学 14単位(コース択必修科目12単位を含む) 外国語 8単位 健康・スポーツ科学 2単位 総合理學系 14単位(コース択必修科目8単位を含む) 専門科目(必修) 16単位 専門科目(選択) 80(70)単位(選択必修科目56単位を含む) (合計) 134(124)単位

※科目名の前の●は必修科目を示す。

※単位数の後の( )の単位数は、2011年度入学生に適用する。